

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



今日の話聞いて、自分にとっても命は大切だけど、家族や友達、周りの人にとっても大切だということが分かりました。事故にあうかは分からないけれど、いろんな人が事故にあっていて、その人も家族も周りの人もとても悲しい思いをしているので、事故にあわないように交通のルールをしっかりと守り生活したいと思います。そして、何も考えずに言っている「いただきます」を、これからはっきりと意味をもて言いたいと思います。たし、少しでも家族や友達、周りの人といっしょに楽しく過ごしていきたくです。私は事故にあったことや、見たことなどはありません。でも、今日の話聞いて、事故にあった悲しみや、くるしさがとても分かりました。これからも、事故にあう人が少しでも減るように、この活動が続けていって欲しいです。今日は、演説をしてくださりありがとうございました。

学校名

仙北市立神代中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

佐藤 伊咲季 より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



熊谷雄宇也さんのお母様のお話を聞いて、交通事故で亡くなった苦しみや、悲しさが伝わってきました。

交通事故は、被害者の方だけでなく、その家族や友達など様々な人も、悲しくなり、心に傷を残すことが分かりました。

また、命の大切さ学習教室に参加して、自分の命のありがたみや、家族がいることの幸せをあらためて実感しました。

小学校5年生の子が言っていた言葉は、本当に、その通りだなと思ったり、「死ね」という言葉をかるがるしく言っではいけないと思いました。

そして、交通事故をしてはいけないし、まきこまれないようにも、自分の身は、自分で守らなければならぬなと分かりました。

命の大切さ教室を開いてくださり、ありがとうございました。

学校名

仙北市立神代中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

佐藤 綺音 より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



今日の命の大切さ学習教室で、普段なにげなく過ごしている日か予想も出来ない事件や事故に巻き込まれて、変わってしまうことが分かった。そして、あたりまえのように過ごしていてもなくなってしまう気が、後悔がたかさんあると知った。自分がいくらルールを守り、気をつけていても、防ぐことができないことも知れた。毎日、朝起きて、ごはんを食べて、学校に行き、帰ってきて、またごはんを食べて、寝る、というくり返しであたりまえに自分がやっている事が亡くなって、出来なくなった雄宇也くんが、すくかわらうたし、小学1年生で子供をなくした親の気持ちは、これからどうしたらいいか分からなく、いろいろな感情が混ざったと思います。今日の話を聞いたので、普段から意識して生活してまたいいと思います。悲しい気持ちは今でも変わらないと思いますか、こうやって話を聞いて、命をもっと大切にしようと思える人が増える活動だと思おうので、これからも頑張ってください。改めて、自分は、困っている人がいたら声をかけ家族や友達、身近な人の守る命は、大でも多く守っていきたいと思います。

学校名

神代中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

毒野輝雅

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



今回命の大切さ学習教室に参加し、被害者のご家族の方々が事故の後からどんな思いで過ごしてきたのかを伝わってきました。あたり前だった日常がくずれた瞬間、それが一番つらくて苦しいものなんだなと思いました。いってらっしゃいと送り出したはずなのに、ただいまという一つの言葉が返ってこなく、最後の言葉がいきますという言葉なのは悲しいものだなとお話の中で感じました。お話をきくなかで何度も涙が出そうになることもありました。事故などの体に傷を追うこともたしかに、「死ぬ」という言葉や「アス」「キモい」という言葉によって心に傷を追ってくなる方もいると思います。イツメも同いような話だと思いました。言葉によるイツメでもやられた方はすぐに忘れてしまう。けどイツメられた方はずっと覚えている。という言葉もよく耳にします。今回のお話でも、加害者の方はせいよんが糸切ったら笑っていた。けど、被害者のご家族は18年たった今もずっと忘れていない。加害者が笑うとはいけないというきまりはないけれど、被害者の方の気持ちも考えるべきだとも思いました。最後に聞いた話で「私たちが生きている今は昨日でなくなった誰かが1秒でも生きたかったんだ」という言葉思い出しました。なので1秒1秒も一生懸命に生きることが大切だということかが分かりました。親にもらった命はそんな無下に扱っていいものでも、きかいを加えることがゆるされているものでもないのでも1秒を大切に生き、誰かを気づかせる人になるうと思えました。お話ありがとうございました。

学校名

神代中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は、この話を薄いパンフレットで続んだことがありました。読んだときは、自然と泣かれました。とても苦しくて悲しいことだと思いました。今日、お母さんから話を聞いて、自分で読んだときよりも胸が苦しくなりました。泣かれました。どれだけ息子さんのことを愛していたか愛情が伝わってきました。「今でも息子の分のご飯を作っている」という言葉にはとても重みを感じました。もう戻らない命、それがどんなに大切かが分かりました。クラスの友達の写真をお机に置いてくれたときに泣き流したことは、自己満足だとおっしゃっていましたが、そんなことはないと思います。優しいクラスでよかったと思います。

息子のことを思って日々生活することは、さみしいと思いますが、息子さんの分まで頑張ってお生きてくだ

さい。
私は将来、女性警察官になりたいと思っています。地域の人に頼られるからいい女性警察官になりたいと思っています。

この教室を開いている中で、つらいことや悲しいことがたくさんあると思います。でも、この教室から学ぶことができるかは、たくさんあると思います。

この教室を、息子さんのために続けてあげてください。応援しています。

学校名

神代中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

安藤 愛

より